平成18年７月１日　　りんせい　　第 388 号

林声

OKAYAMA

おかやま

№388.　2006. 7. 1

岡山市立中央図書館に設置された県産材のベンチ

目　次

○おかやま森づくり県民税事業
　の取組状況について …… 2
○事業紹介 …… 3
○普及情報 …… 4
○普及指導最前線 …… 5
○木材の利用促進 …… 6
○地域でがんばっている人 …… 6
○研究だより …… 7
○お知らせ …… 8
○林産物市況 …… 10

「おかやま森づくり県民税」事業の取組状況について

「おかやま森づくり県民税」は、県民共有の財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくことを目的として、平成16年４月に導入しました。県では、これを財源として、森林を守り育てるための施策に取り組んでおり、平成17年度は３つの目的に沿って12の事業（事業費４億１千４百万円）を次のとおり実施しましたので紹介します。

目　　的	事　業　名	H17事業内容・実績
水源のかん養、県土の保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり （事業費：303百万円）	①森林機能強化事業	奥地林等の人工林を間伐する経費の助成 ・奥地林等の間伐（559ha） ・作業道の整備（22,599m）
	②搬出促進事業	スギ間伐材を市場まで搬出する経費の助成 ・搬出材積（1,480㎥）
	③森林災害復旧緊急支援事業	台風23号で被害を受けた人工林の復旧支援 ・被害木等の整理（361ha） ・跡地造林（438ha）
	④水源の森整備事業	県立森林公園に隣接する人工林の県有化 ・土地取得（49ha）
森林整備を推進するための担い手の確保と木材の利用促進 （事業費：80百万円）	⑤森林保全担い手対策事業	新規就業者のための研修経費の助成、森林利用施設の整備による新規就業者の研修の場の提供 ・現場研修経費の助成（18事業体、49人） ・森林利用施設の整備（21カ所、171ha）
	⑥木とふれあう環境づくり推進事業	県産材ベンチの公共施設への設置､学校及び公共施設の床･壁や学童用机･いすへの県産材利用の促進 ・ベンチの設置（130基、９㎥） ・床、壁、机、いすの整備（11カ所、70㎥）
	⑦エコ工法推進モデル事業	間伐材使用による河川の根固め工の試験施工 ・瀬戸内市（千田川）
	⑧木の潤い空間整備事業	高校生の企画・提案による県産材を使用した「潤い空間」の整備 ・東岡山工業高校、倉敷中央高校（16㎥）
森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進 （事業費：31百万円）	⑨おかやま森づくり情報発信事業	新聞等の広報媒体やパンフレット・パネル等を活用した森林・林業の広報活動 ・新聞広告掲載（11回） ・パンフレット配布（10,000部）
	⑩みどりの大会開催事業	県下のみどりの少年隊が一堂に会する交流大会の開催 ・開催（１回）
	⑪ゆめ・みらい・おかやまの森づくり推進事業	森づくり活動の支援を行う森林ガイドの養成、県民参加による植樹・保育活動の開催 ・森林ガイド養成（16人） ・植樹のつどい開催（77回、3,800人）
	⑫環境学習総合推進事業	森林環境教育重点校での人材育成、小学生による森林、自然についての現地学習の実施 ・高校生対象の講習会の開催（５回） ・小学生による野外現地学習の実施（６校）

奥地林の間伐作業

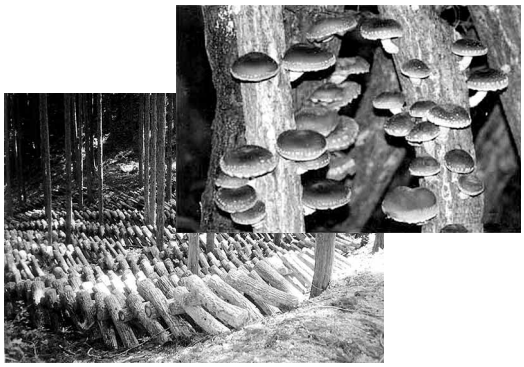
県産材を使った机・いすの整備

みどりの大会

▼事業紹介▲

「原木しいたけ等生産振興事業」について

本県のしいたけ栽培、特に乾しいたけの栽培は、生産量が全国で上位となっており、生しいたけの栽培と合わせて、中山間地域の重要な産業となっています。中でも、クヌギ・コナラ等の地域森林資源を有効活用し、循環型の生産方式によって行われる原木しいたけの栽培は、地域の就労の場の確保や定住化にも寄与しています。



原木しいたけ栽培

しかし、近年、農林水産業の国際化が進んだことにより、輸入品との競合や生産者の減少・高齢化などから、生産量は年々減少しています。

このため、平成十八年度から生産に必要な施設・設備の整備により、生産工程の効率化や労働強度の軽減、生産コストの縮減を図り生産振興に繋げるため、少人数のグループでも事業実施が可能な「原木しいたけ等生産振興事業」を実施しています。事業の概要は次のとおりです。

○事業の概要

①　原木しいたけ等施設整備事業

原木しいたけ等の生産に必要な乾燥機・運搬車等の導入に要する経費の一部を助成します。

【事業実施主体】

市町村、森林組合連合会、森林組合、しいたけ生産組合、特用林産物生産者の組織する団体

【補助率】

補助基本額の三分の一以内

②しいたけ原木供給促進事業

しいたけ原木の生産に必要な林内作業車・架線集材機等を導入する経費の一部を助成します。

【事業実施主体】

市町村、森林組合連合会、森林組合、素材生産協同組合

【補助率】

補助基本額の三分の一以内

③しいたけ啓発支援事業

地域の林家や椎茸生産者と障害者が協働で、原木しいたけの栽培や生産体験を行うときに必要な経費の一部を助成します。また、しいたけ料理教室や各種イベントでのＰＲ活動に要する経費の一部を助成します。

【事業実施主体】

市町村、森林組合連合会、特用林産物生産者の組織する団体、福祉施設、ＮＰＯ法人

【補助率】

補助基本額の三分の一以内（ただし、福祉施設においては二分の一以内）

○事業期間

平成十八年～二十年度（三カ年の予定）

○問い合わせ先

詳しい内容をお聞きになりたい場合は、最寄りの県民局もしくは支局の森林課にお問い合わせください。

消費者の自然志向や健康への志向にあった市場性の高い安全で安心な県産原木しいたけづくりにこの事業を活用してください。

（林政課　林業振興班）

コマツのグラップルレンタル機ラインナップ

〒708-0014 岡山県津山市院庄921-1
コマツ中国㈱津山営業所
ＴＥＬ.（0868）28－2261

ベースマシン	PC45MR-1	PC78US-5	PC138US-2
機械質量	4.9ﾄﾝ	7.4ﾄﾝ	13.9ﾄﾝ
接地幅	1,960㎜	2,320㎜	2,490㎜
グラップルメーカー	コマツ	イワフジ	松本システム
型式	LH03-3E	GS65LHV	MSE45LGS
最大開口幅	1,185㎜	1,620㎜	1,910㎜
最小掴み径	105㎜	95㎜	80㎜
ウインチ	有	無	無

林業の機械化に取り組むコマツはグラップルのレンタルも各種取り揃え対応いたします。
１日からでもお気軽にご利用下さい。

KOMATSU

普及情報

竹林の整備

竹は成長が早い優良な資源であり、昔から籠、すだれ、扇子等日用品の材料に使われるとともに、タケノコは大切な食料として利用されてきました。

しかし、プラスチック製品の普及や海外からの安価な竹材、タケノコの輸入等により、放置された竹林が増えてきています。その結果、竹林の荒廃による公益的機能の低下や、人工林など周辺森林への拡大などが懸念されています。

竹は地下茎により拡大しますが、毎年発生するタケノコは数ヶ月で竹となり、発生後、三～五年で利用適期となります。従って、竹林を適正に管理することによりタケノコや竹材を継続的に再生産・再利用することができます。このように竹林は、循環型社会形成における重要な森林バイオマス資源といえます。

「放置竹林」

長年にわたって手入れが行われず、放置されている竹林は、高密度となり、竹林内に入ることすら困難な状態です。

このような状態では、衰弱した地下茎の増加や、浅根化する傾向があり、大雨で斜面が崩壊する危険性がでてきます。

荒廃した竹林を健全化するには、枯竹・老齢竹（竹稈表面のロウ質が消えて緑褐色に変化している、節の白粉が消えて黒変しているなどの特徴を持った六年生以上のもの）・倒伏竹等を伐採し、一〇〇平方メートル当たり十五～三十本の若竹を残すよう密度を調整します。

こうした施業を行った竹林は、生育が良くなりますが、管理を怠ると再びやぶ状態になりますので、老齢竹や不良竹を伐り、常に活力ある竹林を維持するよう心掛けることが大切です。

「拡大竹林」

竹は繁殖力が強く、天然林や人工林にも拡大していきます。わずか二～三ヶ月で高さ二十メートルになるものもあり、ヒノキ等の樹冠まで達し、枝葉を繁らせ、やがて竹やぶに変化していきます。

竹林が拡大してきた初期の段階では、その都度出てきたタケノコを蹴飛ばして新たな侵入を防ぐことができます。

しかし、さらに竹の侵入が進んだ森林では、元に戻すことは困難となるため、初期段階で竹の侵入を防ぐよう努めてください。

「竹林の拡大防止法」

①竹稈に穴を開け、グリホサート系除草剤を注入

②侵入竹の伐倒とタケノコの除去

③トタン板等遮蔽板の境界地への埋込み

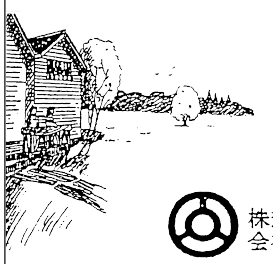
竹の密度が増すと他の稚樹が生育しないため、拡大が続きます。

整備された竹林は、凛とした美しさがあり、日本の景観になくてはならないものです。地域が力を合わせて再生させることが必要となっています。

整備された竹林

竹の除去に活用できる造林補助事業もありますので、地域の林業普及指導員へご相談ください。

（林政課　林業普及指導員）



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社　〒703－8273　岡山市門田文化町２丁目11番51号
TEL(086) 272－2161　FAX(086) 272－2142
http://www.harenet.ne.jp/yamatoya
大阪営業所　津山営業所　水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材

防腐処理・住宅用プレカット資材

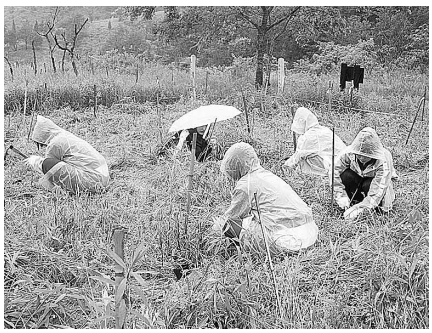
さんもく工業株式会社

〒702-8045　岡山県岡山市海岸通2丁目6番3号
TEL086-262-0137(代)　FAX086-262-0130

普及指導最前線

長船美しい森における『一宮高校でかけな祭　目指せ！一宮の森づくり』の開催について

岡山普及指導区



この県立岡山一宮高校でかけな祭とは、各学年毎にクラス単位で「自然と親しむ」「歴史や文化にふれる」などのテーマを設け、施設等を訪問体験する行事です。

平成十五年まで長船美しい森で行っており、この度三年ぶりに開催され、三年二組の生徒三十三名（内女性二十一名）が「目指せ！一宮の森づくり」と銘打って平成十八年五月二十六日（金）長船美しい森にて、下刈・植樹作業を行いました。

当日は、林業普及指導員が森林の働きや京都議定書で定められた二酸化炭素等の削減率の約半分を森林が担っていることなどの講義を行い、生徒は真剣な眼差しでメモをとるなどしていました。

その後、現地へ移動し作業となったのですが、初めて鎌や鍬を持つ生徒が多く、また、雨が降る中での作業ではありましたが、そこは若さとエネルギーでカバーし、コナラ、アベマキ等を一五〇本、校木であるサクラと、教員が育てたシラカシを植樹しました。

参加した生徒らには、長い期間を要する森づくりに興味をもってもらえるよう、様々な林業体験への参加を促す普及活動に努めたいと考えています。

（林業普及指導員　湯浅秀通）

『新見市神郷女性林業研究グループ』の活動状況について

新見普及指導区

一　はじめに

岡山県の西北に位置する新見市神郷で、女性の地位向上とむらづくりを進める「新見市神郷女性林業研究グループ」（会長山口紀久子）について紹介します。

二　内　容

当グループは、昭和五十六年に山村に住む女性の自立を目指し結成され、現在、会員数は十八名で、五十から六十代が中心となり、「皆仲良く、楽しんで活動を続けていこう」を合い言葉に様々な活動を行っています。

昨年度は、シイタケの栽培や育林技術の研鑽及び草木染めなどの活動が評価され、全国林業グループコンクールで最優秀の農林水産大臣賞を受賞されました。

最近、何かと暗い話題が多い中、当グループは今年度新会員が一名増えるなど明るい話題が絶えません。次に、平成十七年度の主な活動を紹介します。

○原木シイタケの栽培

女性の経済的自立のため、会員が個々に種駒を購入し、自分で栽培したシイタケをグループで共同販売し現金収入を得る活動を行っています。

○親子孫三世代交流木工教室

木工教室は、四年前から開催しており、親子孫の三世代で、本箱やポストなどを楽しく制作しています。

○新たな特産品の開発

現在、公民館活動として定着した草木染めやスギの葉を使ったリース作りを行っています。また、昨年度からはスギ玉作りに着手し、商品化を目指し鋭意努力されています。

三　おわりに

当普及指導区としては、管内の林研グループに対して、技術的な支援を含め、協働・協調しながら、育成支援を図っていきたいと考えています。

（林業普及指導員　木村正三）

木材の利用促進
〝木を使うこと〟が
森を育てる

地球温暖化防止などグローバルな環境問題への関心が日毎に高まり、森林の持つ二酸化炭素吸収源への期待が膨らむ一方で、身近にある森林に対してはそれほど高い関心があるとは思われません。

かつて、日常的に木材を利用していた頃とは対照的に、私たちの生活様式も大きく変化し、身の回りから木材や木製品が次第に減り木に触れる機会が失われつつあることがその一因と思われます。

十八年版林業白書では、内閣府が十五年に実施した世論調査で「森林から生産される木材の利用が森林整備には必要」ということを二〇代、三〇代の人では四割しか認識していない、と報告されています。

とは言え、県土の七割を占める森林を適正に整備していくためには、県民の理解と支援が必要不可欠です。そのため県では、おかやま森づくり県民税を活用して、風倒木や小径木で作ったベンチを公園や図書館などに設置しています。

そして、多くの県民、特に未来を担う子供たちが木の良さを感じられるような機会の創出に取り組んでいます。

木工教室で親子で木に親しむ
（岡山市立少年自然の家）

また、各地で行われている木工教室等では親子で木に親しむ参加者も多く、健康に対する関心とも相まって「人に優しい木材」を生活に取り入れようとする気運も随分と高まっています。

そんな今、木材を利用することが森林を支える原動力になっているということを県民の皆さんにももっと知っていただきたいと考えています。そして、暮らしに木材・木製品を進んで取り入れることが、森林ボランティア活動に参加することと同様に、社会貢献活動のひとつとして認められることを期待しています。

（林政課木材需要拡大推進班）

地域でがんばっている人
―片山幹雄さん（真庭市種）
真庭普及指導区

今回は、真庭市種（旧湯原町）にお住まいの、片山幹雄さんを御紹介します。

片山さんは、真庭森林組合作業班の班長として、森林整備に携わられている傍ら、湯原林業研究会（昭和五九年設立）会長として、地域の林家の取りまとめ役として御活躍されています。

平成十六年六月に、湯原林業研究会及び湯原旅館組合女性部（シャクナゲ会）のメンバーが中心となって結成された、「湯原温泉・彩りの森づくりの会」の会長も務められております。

「湯原温泉・彩りの森づくりの会」は、湯原ダム湖畔の「霞ヶ岳森林公園」を活動エリアの中心として、地元小学生を対象とした森林・林業学習、子供樹木博士認定会、植樹会の開催など年間を通じて活動されています。

平成十七年度には、活動の輪を広げるため、会員の手作りによる自然観察コースの設定、散策マップの作成など、温泉来訪者等が湯原湖の四季折々の自然を楽しめるような周遊整備を行い、温泉観光客・都市住民と地域住民のふれあい・出会いの場、子供達の森林学習の場として利用を推進しました。

こうした活動により、平成十八年五月には、「夢づくり推進大賞」を受賞されました。これを契機として、なお一層の活躍が期待されております。

森林・林業学習

（林業普及指導員　龍門　徹）

研究だより

複合乾燥によるスギ心持ち柱材の乾燥

岡山県木材加工技術センター
専門研究員　河崎弥生

一　複合乾燥とは

木材を乾燥する方法として、これまでに様々な方法が考案されてきました。例えば、熱風循環式（蒸気、電気）、除湿式、減圧式、高周波式、マイクロ波式、太陽熱式、燻煙式、液相式などで、これらは普及の程度は異なるものの、いずれも実用化された実績があります。そして、それらは、一般的には、各々の特徴を生かしながら、単独の乾燥方法として用いられてきました。しかし、一方では、各乾燥方法が有する長所を組み合わせて、より高度な複合乾燥法とし、高品質な乾燥材生産を行おうとする試みも行われてきました。例えば、高周波加熱と減圧とを組み合わせた「高周波加熱減圧乾燥」は実用化して既に二十数年の歴史がありますし、熱風（蒸気）加熱と高周波加熱とを組み合わせた「熱風高周波乾燥」も数年前から実用機が納入され始めています。これらの複合乾燥法については、当センターでも研究の実績があります。

二　複合乾燥の特徴

複合乾燥の特徴は、何と言っても複数の乾燥方法の長所を融合させる点にあります。つまり、「良いとこ取りの乾燥法」ということになり、大きな乾燥速度が得られたり、割れなどの損傷が少なかったり、変色が押さえられたりといった、願ってもない利点を持ち得る可能性を秘めています。しかし、その一方では、装置が複雑になってイニシャルコストが高くなったり、電気を熱源とする場合にはどうしてもランニングコストが増加するという側面もあります。

三　当センターの試み

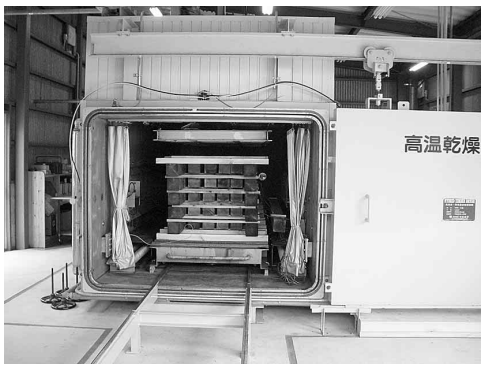
当センターでは、平成十四年度に林業・木材産業構造改革事業によって導入したオープンラボ複合乾燥装置施設を用いて、スギ心持ち・無背割り柱材の新たな乾燥方法の開発に取り組んでいます。

現在、心持ち・無背割り材の乾燥には、主として材面割れ抑制のために、「高温乾燥法（高温セット法）」が用いられています。高温乾燥法については、これまで様々な立場で、適正な乾燥条件の確立に向けて改善がなされてきていますが、実状としては、高温域を使用するが故に発生するリスクに対する懸念も、依然として存在しています。

このような状況を受けて、当センターでは、熱風減圧乾燥や熱風減圧高周波乾燥による中温域（百℃未満）の条件を用いて、懸念される内部割れや変色等の抑制方法の開発に取り組んでいます。現在、条件設定をうまく行えば、内部割れをほぼ完全に防止し、変色もかなり抑えた状態で、かつ材面割れが無い高品質乾燥材の出現率を七十パーセント程度まで高めることが可能なレベルまで、研究が進んできています。実用化を目指して、さらに研究を継続する予定です。

複合乾燥を行う際に制御しなければならない因子は、例えば熱風減圧乾燥では温度、湿度、沸点、真空制御、風速の5項目、熱風減圧高周波乾燥では、さらに高周波加熱、材温の制御が加わって7項目となり、適正な乾燥条件を設定する難易度は高くなります。しかし、温湿度という単純な因子によって乾燥を行うよりは、複数の因子を用いて乾燥を促進させる方が、より高品質な乾燥材が生産できる可能性は高まります。我々が食事をする場合、単品をたらふく食べるよりは、多くの品目を少しずつ取る方が健康に良いという事と、多少似ていると言えなくもありません。

当センターでは、複合乾燥に関する研究成果を、これまで木材高度乾燥技術研修会などを通して、適宜、木材関連業界に報告してきており、今後もその予定です。



オープンラボ複合乾燥装置

▼▼▼お知らせ▲▲▲

おかやま森の大使 募集中

当協会では、森づくり活動への参加や県産材の需要拡大を図るため、各種イベントに参加して森林・林業の大切さや木材の良さをPRするキャンペーンスタッフ「おかやま森の大使」を募集しています。

募集人数は二名で、活動期間は平成十八年十月から一年間です。応募資格は十八歳以上の県内在住者で曜日を問わず各種イベントに参加可能な方です。ただし、他の同様なキャンペーンスタッフとして平成十八年十月以降も活動する方は応募できません。

応募は、履歴書（募集チラシの裏面又は市販のもの）に写真（最低六ケ月以内に撮影した全身写真）を貼付し、八月十一日（当日消印有効）までに最寄りの当協会支部（各県民局・支局森林課内）に提出してください。

八月下旬に選考会を行う予定です。

お問合せは、県庁林政課内の岡山県林業改良普及協会（☎〇八六―二二六―七四五一）まで。

熱中症に注意しましょう！

今年も暑い夏が来ました。毎年五月から九月にかけて、各地で「熱中症」による災害が多く発生します。

熱中症は、高い気温や湿度のもとで、体温調節や循環機能などの働きに障害が起こる病気で、めまい・頭痛・耳なり・嘔吐・脱力感等がみられ、意識障害に陥ることもあります。

直射日光にさらされ、高温となる森林作業では、次のことに注意して熱中症を防ぎましょう。

○　水分、塩分の補給のためスポーツドリンクなどや身体を適度に冷やすことのできる氷、冷たいおしぼりなどを備え付けること。

○　日陰などの涼しい場所に休憩場所を確保すること。

○　十分な休憩時間や作業休止時間を確保すること。

○　作業服は吸湿性、通気性の良いものを着用すること。

○　体調不良の場合は、無理をせず休むこと。

○　現場責任者は、作業者の健康状態を把握し、作業中も巡視などにより健康状態を確認すること。

（林政課　林業振興班）

岡山県立森林公園自然観察会　参加者募集！

七月三十日（日）に夏の自然観察会が開催されます。

園内の動植物に詳しい講師により、ブナやミズナラの美しい緑や、オトギリソウ、ツリフネソウなどのかわいい草花、心休まるきれいな鳴き声の野鳥など、生き生きとした自然を案内してもらうことができます。

参加費は無料で、雨天でも行います。募集人数は一五〇名で、定員になり次第締め切らせていただきます。参加申し込みは、往復ハガキに住所、氏名、電話番号、交通手段（臨時バス利用［乗車地の別］、自家用車利用の別）、参加人数を明記の上、七月二十日までに（財）上齋原振興公社総務課（〒七〇八―一〇六〇一苫田郡鏡野町上齋原五一四一一）へ郵送してください。

当日は、昼食を持参してください。なお、岡山・倉敷・津山から有料の臨時バスが運行されます。

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う
美津吉商事株式会社
津山市一方 194　〒708-0883　TEL(0868)23-2255
http://www.mitsuyoshi.com/

みんなで進める 森づくり 参加者募集中!!

「おかやま共生の森」での保育のつどい（下刈り）

岡山県では、県民の皆さんの手で森づくりを進める「おかやま森づくり県民基金」事業の一環として、「おかやま共生の森」での森林作業ボランティアを募集しています。
共生の森での活動に参加して、おかやまの森林をみんなで守り、育てましょう！

共生の森・哲多 （備中県民局新見支局）	共生の森・川上 （備中県民局高梁支局）	共生の森・井原 （備中県民局井笠支局）
H18．8．5（土）	H18．7．1（土）	H18．7．29（土）
共生の森・久世 （美作県民局真庭支局）	共生の森・加茂川 （備前県民局）	
H18．7．15（土）	H18．7．8（土） H18．8．5（土）	
共生の森・勝北 （美作県民局勝英支局）	共生の森・柵原 （美作県民局）	
H18．7．15（土）	H18．7．15（土）	

お申し込み方法

①ハガキに次の事項を記載し、開催日の５日前までに各県民局・支局の森林課にお申し込みください。
記載事項：参加者全員の住所、氏名（代表者に◎）、生年月日、電話番号、参加希望の「おかやま共生の森」、参加希望日
②インターネットを利用して、林政課ホームページからもお申し込みいただけます。
URL:http://www.pref.okayama.jp/norin/rinsei/rinsei.html

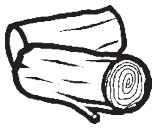
その他のイベント

イベント名	実施日時	場所	問い合わせ・申し込み先
保育（下刈り）のつどい	H18．７．８（土） 10：00～11：30	倉敷美しい森 （倉敷市曽原）	岡山県備中県民局森林課 TEL：086－434－7061
昆虫観察会	H18．７．22（土） 10：00～14：00	高梁美しい森 （高梁市松山）	ＮＰＯ法人ふれあいの里・高梁事務局 TEL：0866－21－1000
木工教室 （小中学生の親子を対象）	H18．８．26（土） 10：00～14：00	岡山市立少年自然の家 （岡山市日応寺）	（社）岡山県木材組合連合会 TEL：086－231－6677

優良種菌で確かな収穫
もりのたねごま
◆シイタケ，ナメコ，ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。
製造総発売元 森産業株式会社
岡山営業所 岡山市辰巳46－104
TEL 岡山(086)805－7033㈹

緑化用種苗器材
庭公園樹各種芝
造園設計・施工
株式会社 菁芳園
岡山市東古松２丁目10-28
電話 222－4038

日本産原木しいたけ栽培を応援します
品質の信用が第一です
財団法人 日本きのこセンター
安心 本物
〈本部〉鳥取市富安１丁目８４番地 電話 0857－22－6161
〈鳥取駐在〉鳥取市古郡家２１１番地 電話 0857－51－8132



林産物市況

木　材（６月17日）

単位：千円／㎥

樹種	長さ	径級	直材		小曲り		概況
杉	３ｍ	７～13	本200	－	本100	－	出荷材積 約1,530㎥
		14細	6	－	本100	－	
		14～16	10	－	5	▼	
		18～20	10	－	5	▼	杉
	４ｍ	７～12	本300	－	本150	－	中目材　横ばい
		18～22	11	－	7	－	柱　材　横ばい
		24～28	11	－	8	－	小径木　横ばい
	６ｍ	18～20	20	－	10	－	
桧	３ｍ	７～10	本220	－	本100	－	
		11～13	本320	－	本100	－	
		14細	21	－	6	－	桧
		14～16	27	－	24	－	中目材　横ばい
		18～20	26.5	－	24	－	柱　材　横ばい
		22～24	20	－	17	－	小径木　横ばい
		26㎝上	20	－	17	－	
	４ｍ	７～13	本300	－	本150	－	
		14㎝	25	－	20	－	
		16～18	27	－	25	－	
		20～22	23	－	20	－	
		24～28	20	－	17	－	
		30㎝上	25	－	20	－	記号
	６ｍ	14㎝	28	－	23	－	△　強気配
		16㎝	37.5	－	35	－	－　横ばい
		18～20	35	－	30	－	▼　弱気配
		22㎝上	23	－	20	－	
松	３ｍ	18～24	8	－	5	－	
	４ｍ	24～30	12	－	7	－	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

乾しいたけ（５月19日）

- 出品Ｋ数　8.4 t
- 価格高値　8,000円
- 安　　値　300円
- 総 平 均　3,310円

銘柄	価格 平均	価格 高値	相場
香信大	3,590	5,200	○
香信中	4,230	6,500	◎
香信小	3,780	3,780	◎
小間	3,090	3,090	－
香信山成	3,500	3,650	◎
バレ大	3,206	5,000	○
バレ中	2,840	5,000	○
スライス	3,250	4,360	○
花どんこ	－	－	－
上どんこ	6,000	6,000	◎
並どんこ	4,090	5,530	◎
並並どんこ	2,940	4,690	◎
小玉どんこ	1,430	2,090	△
山成どんこ	2,290	3,890	△
こうこ	4,620	8,000	○
格外	2,440	4,300	◎

価格：円／kg
（相場）
強：◎　保合：○　弱：△
資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

製　材（６月中旬）

樹種	寸法	等級	区分	安値～高値
スギ	正角３ｍ　10.5㎝角	特等	G	28,000～35,000
		特等	K	45,000～50,000
	正角３ｍ　12㎝角	特等	G	28,000～35,000
		特等	K	45,000～50,000
ヒノキ	正角３ｍ　10.5㎝角	特等	K	58,000～65,000
	正角３ｍ　12㎝角	特等	K	60,000～65,000
マツ	平角４ｍ　10.5～12㎝×15～18㎝	一等	G	35,000～40,000 KD60,000～65,000
米マツ	正角３ｍ、４ｍ　10.5㎝角	特等	G	48,000～51,000
	平角３ｍ、４ｍ　10.5×15～21㎝	特等	G	48,000～51,000
北洋アカマツ	タルキ４ｍ　3.8㎝角	特等	G	42,000～43,000
ホワイトウッド	間柱３ｍ　2.7㎝×10.5㎝	特等	K	51,000～52,000

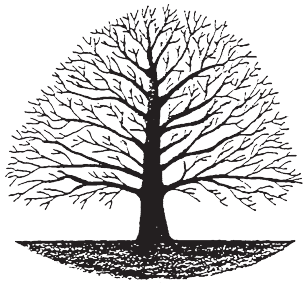
注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

「緑の募金」
ご協力をお願いします
募金期間
春のみどりの月間：4月1日～5月31日
秋のみどりの月間：10月1日～10月31日
緑の募金で
ふせごう地球温暖化
21世紀は森林の世紀
（社）岡山県緑化推進協会
岡山市錦町１－８　TEL･FAX (086)221-9511

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
その他木製品の注文承ります
水を活かす FOREST
株式会社 フォレスト
〒702-8058 岡山市並木町二丁目16番22号
TEL086-265-7350 FAX086-265-1841

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計
森林整備の総合計画
治山・林道に係る用地測量
公共事業に係る保安林業務



社団法人 岡山県治山林道協会

本所　〒703-8233 岡山市高屋225－１
TEL（086）271－3711
FAX（086）271－3773
支所　〒708-0013 津山市二宮1849－２
TEL（0868）28－9360
FAX（0868）28－9363

―― 安全・人と自然・調和 ――

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤　　〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
〔樹皮食い防止に〕バークガード　　〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕クズノック・ザイトロン・ザイトロンフレノック
〔樹幹注入剤〕センチュリーエース
（お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ）
販売元：原岸株式会社　　大同商事㈱大阪営業所
TEL：086－465－7136　　TEL：06－6231－2819

―― サンケイの松くい虫防除薬剤 ――

多目的使用（空中散布・地上散布）が出来る
スミパイン® 乳剤

伐倒木用くん蒸処理剤
キルパー®

樹幹注入剤 グリンガード®・エイト
メガトップ® 液剤

伐倒駆除剤
パインサイド® S油剤C,D

お問合せは　県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社
大阪営業所
大阪市淀川区西中島4丁目5番地1号 新栄ビル ☎(06)6305-5871

林声　平成十八年七月一日（三八八号）
編集　岡山県庁林政課内
発行人　岡山県林業改良普及協会

請負業者
賠償責任保険
共栄火災

危険な伐採作業のための
安心のパートナーです

安心と信頼をお届けします。

株式会社　ケンモリ

（岡山県森林組合連合会　出資会社）

〒700－0866　岡山市岡南町２丁目５番10号
（ＴＥＬ）086－224－7343
（ＦＡＸ）086－224－2655

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

「岡山県エコ製品」の認定を受けた５品目
間伐材や古紙を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
東中国支店／津山市高尾573-1　TEL（0868）28-0256
岡山営業所／岡山市横井上1328-2　TEL（086）294-1000

“備えあれば憂いなし”
森林国営保険

マモルくん

加入できる森林は　人工林であれば、樹種、樹齢、面積など制限なく加入できます。

加入期間は　１年単位でいつからでもご希望の年数を加入できます。

保険金が出るのは　契約された森林が**火災、風害、水害、雪害、干害、凍害**などにより損害が出たときに、森林所有者に保険金が支払われます。

★森林国営保険についてのご相談は
もよりの市町村、森林組合または県民局・支局森林課の窓口へどうぞ。

● 岡山県農林水産部治山課　電話番号 086(224)2111（代表）
086(226)7455（直通）

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています